

大使館便り

第 189 号平成 30 年 12 月 7 日
在ポルトガル日本国大使館

1. 新美大使からのご挨拶

日本とポルトガルの経済関係は、ご案内の通り、我が国バブル経済の終焉、そしてリーマン・ショックを経て一時期やや停滞気味でしたが、近年、貿易、投資共に増大傾向にあります。私もうれしいことに、ポルトガルとのビジネスに関心を寄せる本邦の企業さんから当国情勢について説明を求められることが増えて参りました。こうした折、このような流れを象徴するように、この一月あまりの間に日本から3つの経済ミッションが相次いで当国を来訪されました。

先ず10月下旬、池田広島銀行会長を団長とする広島経済同友会のご一行が来訪。次いで11月上旬、ジェトロの募集に応じWebサミットに参加する、6社の我が国ベンチャー企業の代表の方々が来訪。Webサミットは今回が10回目、ポルトガル開催となってからは3回目ですが、日本からは今回が初のミッション派遣となりました。

そして同じく11月上旬、佐藤住友生命会長、越智三菱ケミカル社長の両氏を団長とする総勢32名の経団連ヨーロッパ地域委員会ミッションが来訪され、大統領、首相、外相等要人とそれぞれ会談した他、AICEP（ポルトガル投資貿易振興庁）主催のビジネス・セミナー等に出席されました。経団連ミッションの当国訪問は5年振りですが、欧州に40余り国があり、経団連ミッションの欧州諸国訪問は近年、年に2カ国程度のケースが多い中で、今回ポルトガルを訪問国に選択頂いた訳です。ポルトガル側もこの訪問を大変重視し、要人との会談についてもそれぞれ長い時間を充てて対応頂きました。レベロ・デ・ソウザ大統領への表敬は、予定を大幅に超過して1時間に及んだ程でした。

俗に「百聞は一見に如かず」と言います。以上来訪された方々の多くは、初めて当国に来られましたが、ビジネスで培われた豊かな眼力でポルトガルの人々や町の表情、指導者の器量の大きさ等、直接目にされたところを、必ずや今後のビジネスに活かして頂けるものと期待致しております。

さて、平成最後の年もまもなく暮れようとしておりますね。どうぞ皆様佳いお年をお迎え下さい。

2. 政治・経済関係

(1) ウェブ・サミット2018の開催

11月5～8日、リスボン市東部のオリエンテ地区で世界最大級のテクノロジー関連イベント「ウェブ・サミット2018」が開催され、延べ159か国から約7万人の参加者、1800社のスタートアップ企業、1500人以上の投資家、1200以上のスピーカーが来場しました。

また、世界の有名IT関連企業が多数出展するほか、国内外の政府代表者を交えた様々なイベントやシンポジウムが連日行われました。

5日の開会式には、ウェブを開発したティム・バーナーズ・リー氏、グテーレス国連事務総長及びコスタ首相、8日の閉会式には、レベロ・デ・ソウザ大統領が挨拶を行いました。

(2) ポルトガルと中国による宇宙及び海洋に関する共同研究所設立の発表

11月6日、エイトール科学技術・高等教育大臣は、ポルトガルと中国が「STARLab」という宇宙及び海洋に関する研究と技術開発のための共同研究所を設立する旨発表しました。同研究所は、宇宙及び海洋に関する知識を高めつつ、持続可能な利用のための研究及び技術システムの開発を主な目的とし、マトジニョシユ市及びペニシユ市に設置される研究センターにおいて小型衛星の製造を行う予定です。両国は今後5年間にかけてそれぞれ2,500万ユーロ（合計5,000万ユーロ）を投入し、ポルトガル側は公的資金の投入及び民間セクターからの資金調達を予定、中国側は中国科学院が全ての資金を調達する方向で検討しております。

(3) 第3四半期失業率、6.7%を維持

11月7日、ポルトガル国立統計院（INE）は、2018年第3四半期の失業率が、前期比の6.7%を維持した（前年同期比1.8ポイント減）と発表しました。

INEの統計によれば、失業者数は35万2,700人（前期比0.2%増；前年同期比20.6%減）で、このうち、若年層失業率（15～24歳）は20%（前期比14.3ポイント増；前年同期比15.1ポイント減）の7万9,100人。男女別失業率では、男性が6.2%、女性が7.2%でした。また、地域別失業率では、マデイラ自治州（8.9%）、アソーレス自治州（8.7%）、北部地域（7.2%）及びリスボン首都圏（7.1%）でポルトガル全土平均を上回り、アレンテージョ地域（6.6%）、中部地域（5.4%）及びアルガルヴェ地域（5.0%）で平均を下回りました。

(4) ユーロソングージェン社の世論調査結果—11月

11月17日、週刊エスプレッソ紙はユーロソングージェン社が実施した世論調査結果を発表しました。与党・社会党（PS）の支持率は41.8%と、0.4ポイント上昇しました。他方、最大野党・社会民主党（PSD）の支持率は0.7ポイント上下落し、26.8%となりました。

(5) コスタ首相のスペイン訪問

11月21日、コスタ首相は、スペインで開催された第30回西葡首脳会談に出席しました（サントス・シルヴァ外相、カブリタ内務相、シザ・ヴィエイラ首相補佐・経済相、エイトール科学技術・高等教育相、ブランダン・ロドリゲス教育相、ヴィエイラ・ダ・シルヴァ労働・連帯・社会保障相、マルケス企画・インフラ相、マトス・フェルナンデス環境・エネルギー転換相、カポウラス・サントス農業・森林・地方開発担当相同行）。コスタ首相とサンチェス西首相の会談の他、分野別の大臣会合が開かれました。首脳会談後、コスタ首相は、ツイッターにおいて、「我々はポルトガル及びスペインの国境地帯の発展のための共同戦略を明確にした。市民保護、科学、雇用、

教育、安全保障、農業及び環境分野に関する共同イニシアティブも進展させた」旨述べました。

(6) ロウレンソ・アンゴラ大統領がポルトガルを公式訪問

11月22～24日、ロウレンソ・アンゴラ大統領がポルトガルを公式訪問しました。22日、同大統領はベレン地区での栄誉礼及び歓迎式典にて迎えられ、ポルトガル大統領府にてレベロ・デ・ソウザ大統領と会談した後、エンリケ航海王子勲章大綬章を受賞しました。同日午後には国会の特別セッションにて演説した他、リスボン市長主催の歓迎式典に出席し、オエイラス市の国立農学研究所を訪問しました。23日にはポルト市へ移動し、ポルト市主催の歓迎式典に出席した後、ボルサ宮（ポルト商工会議所本部）にてコスタ首相との会談を実施し、二国間協力に関する医療、法務、学術、環境、文化、観光等のテーマについて13の協定に署名しました。ロウレンソ大統領は、続いてポルト市内で開催されたポルトガル・アンゴラ経済セミナーの閉会式において挨拶しました。両国首脳会談後、コスタ首相は、ツイッターにおいて、「今次訪問の政治的意味の他、具体的な結果である法務及び犯罪捜査、保健、高等教育、科学、技術及びイノベーション、環境、青年、文化、及び観光分野の二国間協力に関する合意文書の署名を加えることができた」と表明しました。

(7) ラブロフ露外相のポルトガル訪問

11月24日、ラブロフ露外相がポルトガルを訪問し、サントス・シルヴァ外相と会談した後、二国間政治協議に関する覚書に署名しました。会談後の共同記者会見において、サントス・シルヴァ外相は、ポルトガルは、欧州連合とロシア間、及びNATOとロシア間につき政治対話を維持することが重要である旨述べました。同日、ラブロフ外相はレベロ・デ・ソウザ大統領を表敬しました。

(8) コスタ首相が臨時欧州理事会に出席

11月25日、コスタ首相は、ブリュッセルで開催された臨時欧州理事会に出席しました。英国の離脱協定案を承認した同理事会後、コスタ首相はツイッターにおいて、「これが英国におけるポルトガル人の権利及び利益を守る最良の解決策であり、今次交渉において我々の最優先事項であった。将来の関係は強固な経済協力、安全保障及び防衛、及び多国間主義の肯定に基づくであろう」と述べました。

(9) 2019年度政府予算が国会で可決

11月29日、2019年度政府予算案は、与党・社会党及び同政権に閣外協力する左翼連合、共産党、緑の党及び人と動物と自然の党の賛成多数で、国会で可決されました。野党・社会民主党及び民衆党は反対に回りました。

コスタ首相は同日、「国会は現政権の最後となる2019年度政府予算案を承認した。我々は緊縮経済から抜けだし、財政赤字を0.2%に削減した」などとツイッターに投稿しました。

(10) 経団連ヨーロッパ地域委員会委員長一行のポルトガル訪問

11月7～10日、経団連ヨーロッパ地域委員会委員長一行（団長：佐藤義雄ヨーロッパ地域委員長（住友生命保険会長）、越智仁ヨーロッパ地域委員長（三菱ケミカルホールディングス社長））が当国を訪問しました。8日、同一行はコスタ首相を表敬し、9日は、ポルトガル投資貿易振興庁（AICEP）主催ビジネスセミナーに出席したほか、シャンパリモー財団を見学した後、レベロ・デ・ソウザ大統領、サントス・シルヴァ外務大臣を表敬しました。

3. 広報・文化関係

(イベント)

●展示会「驚愕の歴史－ポルトガルと日本の16～20世紀」

国立アジュダ宮殿において、国際交流基金の協力により日本・ポルトガル間の歴史をテーマにした標記展示会（原題：Uma História de Assombro. Portugal-Japão séculos XVI-XX）が、以下のとおり開催されています。

日時：11月30日（金）～2019年3月26日（火）

会場：国立アジュダ宮殿

住所：Largo Ajuda 1349-021, Lisboa

お問い合わせ：213 637 095 / 213 620 264

(報告)

●新美大使による講演

11月14日、ポルト大学文学部において、「日本とポルトガルの関係－6世紀に亘る交流と近年の関係拡大－」をテーマに、新美大使が講演を行いました。講演では、1543年に始まる日本とポルトガルの関係、近年の経済や観光、文化、スポーツ分野等における関係拡大についてご説明をさせていただきました。

講演会開催にご協力いただいたポルト大学文学部、ご来場いただいた皆様に深く感謝申し上げます。



リベイロ文学部長による開会の挨拶



新美大使による講演



新美大使による講演



ポルト大学文学部関係者の皆様と

●巡回展「現代日本のデザイン100」

11月15日、ポルト大学芸術学部において、国際交流基金による巡回展「現代日本のデザイン100」のオープニングが行われました。当日は沢山の方にご来場いただき、来場者は現代のデザインを生む基礎となった戦後のプロダクトや、インテリア、食卓・調理、身につけるもの、こども、文具、生活・ホビー、医療、震災、乗りもののセクションで構成された展示を興味深くご覧になっていました。

ご来場いただいた皆様、巡回展開催にご協力いただいたポルト大学芸術学部へ深く感謝申し上げます。

巡回展は12月15日まで開催しておりますので、引き続き皆様のご来場をお待ちしております。



ポルト大学総長による挨拶



新美大使の挨拶



展示会場



展示会場



展示会場



オープニングを祝して

●つのだひろし氏による日本のデザインに関する講演会

11月15日、ポルト大学芸術学部において、バルセロナ在住デザイナーのつのだひろし氏による日本のデザインに関する講演会が開催されました。講演会にはポルト大学の学生を中心に100名を越える方にご参加いただき、つのだ氏からは日本ならではのデザインや発想、ご自身の経験に基づくデザイナーとして求められる点等の話がありました。参加者は熱心に説明に聞き入り、質疑応答も活発に行われました。

なお、本講演会は国際交流基金巡回展「現代日本のデザイン100」のオープニングにあわせて開催されました。ご参加いただいた皆様、講演会開催にご協力いただいたポルト大学芸術学部に心よりお礼申し上げます。



ポルト大学ジョゼ・パイヴァ芸術学部長に
よる挨拶

新美大使による開会の挨拶



つのだ氏による講演



会場の様子

(お知らせ)

●広報文化班からのお知らせ

今後、当館主（共）催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えてEメールによる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、cultural@lb.mofa.go.jpまでご連絡下さい。

4. 領事関係

(1) 在留届に関するお願い

近年、海外で生活する日本人が急増し、このため海外で事件や事故等思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万一、在留邦人の皆様がこのような事態に遭われた場合には、日本国大使館や総領事館は「在留届」を基に皆様の所在地や緊急連絡先又は日本国内の連絡先等を確認して援護活動を行っています。

当館でも、皆様に提出いただいた在留届により連絡先の把握を行い、大使館からの海外危険情報や広報文化活動などの情報提供、緊急時の連絡網整備、安否確認に役立てているところです。

このため、ポルトガル国内での転居、日本への帰国、他国への転出等、在留届の届け出事項に変更が生じた後、引き続きこの大使館便りをご覧の方は、速やかにその旨を下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

また、皆様の友人・知人で「ポルトガルに居住しているが、まだ在留届を提出していない方」がおられましたら、届出を行うようご案内下さい。

(2) 第三国出国の際の「たびレジ」登録のお願い

在留届を提出されている在留邦人の皆様は、普段は海外安全情報配信サービス「たびレジ」に登録する必要はございません。しかし、休暇、出張等、第三国にお出かけの際には是非、「たびレジ」の登録をお願いいたします。「たびレジ」に登録すると、渡航先の大使館・総領事館から、日本語で最新の安全情報がメールで届きます。また、大規模な事件・事故、テロ、自然災害等緊急

連絡のメールが届き、安否の確認や必要な支援などを受けることができます。

登録はこちら：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

(3) 当館領事業務へのご意見募集

当館では、領事サービスの向上を図るため、皆様からのご意見を募集しています。どのような些細な事柄でも結構ですので、ご意見・ご要望等があれば、お気軽に下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

在ポルトガル日本国大使館（領事班）

住所：Avenida da Liberdade 245-6 1269-033 Lisboa

TEL：21-311-0560 FAX：21-354-3975 E-mail：consular@lb.mofa.go.jp

(了)